

広報

心し

NO.217

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

51.12.5 発行



● 広報紙は早く配布してください ●

“こんにちは消防音楽隊です” みんなで楽しく唄って火の用心！
(秋の火災予防運動の「コマ」11月28日・ユニードパートで)

こんどは窒素酸化物

硫黄酸化物に続いて大気汚染の防止へ……

富士地区の大空クリーン作戦は、硫黄酸化物の大巾な前進にもかかわらず、公害病の認定患者がいっころに減らないばかりか年々増加する傾向にあるため、こんどは光化学スモッグの原因物質としても直接人体に影響の多い窒素酸化物についても総量規制方式に移行する公算が大きく市公害課でこのほどこの方向へ向けての基礎資料がまとまりました。

規制対象施設の拡大と基準の強化で総量規制の方向へ

大気汚染防止対策の一つとして窒素酸化物については、去る48年5月に環境基準が二酸化窒素について定められ、原則として5年以内に目標を達成するよう努めることになっています。

この発生源対策としては、固定発生源としてばい煙発生施設。また、移動発生源として自動車を中心に規制

対策が段階的に進められてきました。そして、同年8月に第1次規制基準が示され、乗用車の排ガス53年度規制もようやく計画どおり実施できるメドがつかしました。また50年12月には第2次規制として規制対象施設の拡大と基準の強化がはかられ、公害行政の中で総量規制方式がとられる方向づけがなされてきました。

技術の開発状況や低窒素化燃料確保等地域の実情に反映できてしかも、これに対応できる工場単位での総量規制がとられることが予定されています。

発生源の状況調査

こうした先行きの見通しを踏まえ

て市は、県や近隣市町村（富士宮市由比町、蒲原町、富士川町、芝川町）と共同で去る49年に日本気象協会に依頼し、窒素酸化物に係る環境汚染の実態解明に必要な総量規制実施のための基礎調査を行いました。

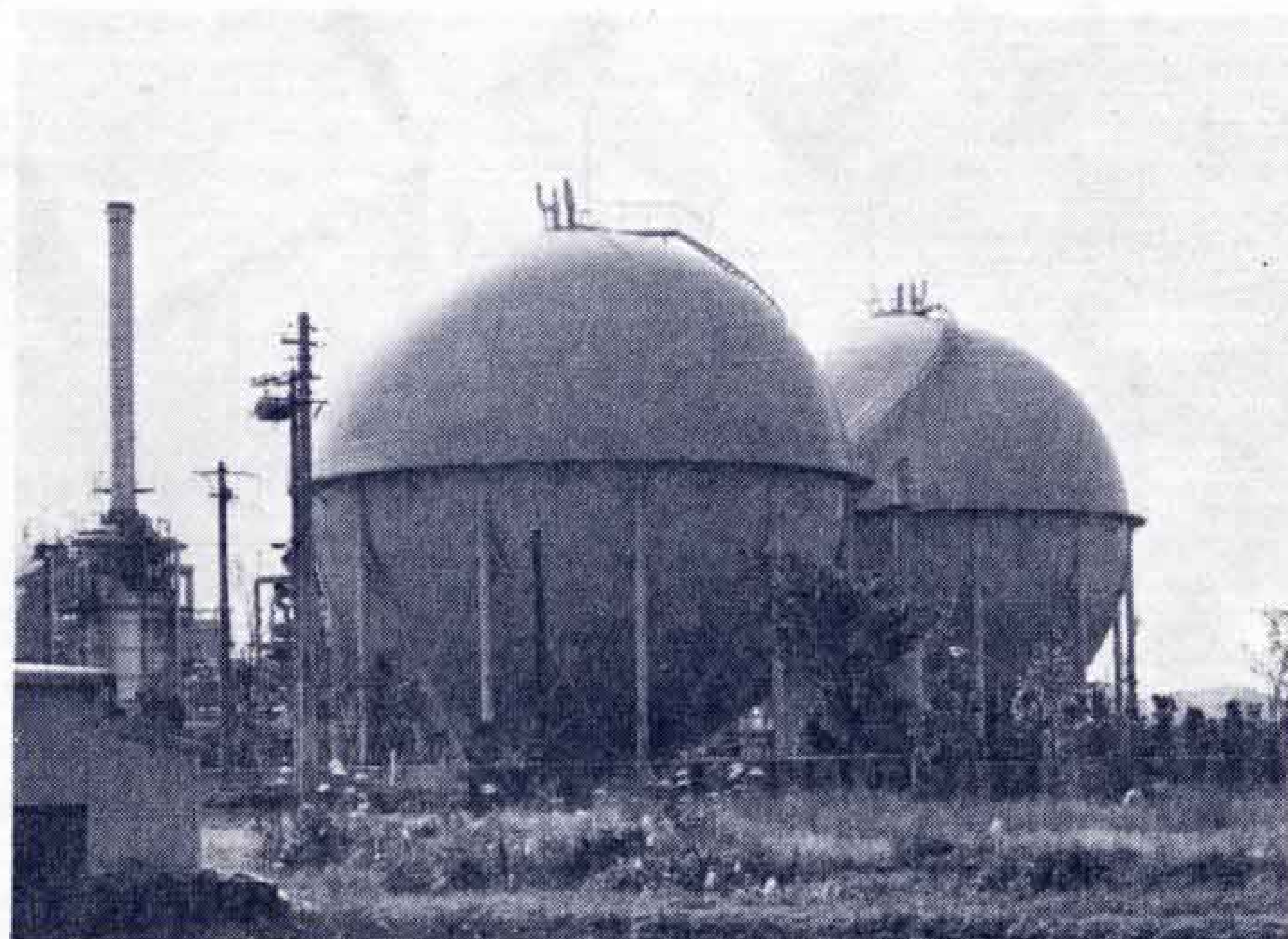
問題は固定発生源からの排出

窒素酸化物の発生源としてよく知られている煙突や自動車の排気口から大気中に排出された直後の窒素酸化物は、大部分が一酸化窒素であり排出直後は高い濃度で大気中に移流拡散しながら二酸化窒素になります。そして、再び光分解によって一酸化窒素にもなります。こうした窒素酸化物の濃度シュミレーション（模擬実験）を行った結果、富士地区の窒素酸化物の排出量は年間約10,585.9トンにのぼるものと予想され、このうち固定発生源から排出されるもの

当面は52年12月までに第2次規制の目標達成を……

その中で、当面は特に富士地区に多い固定発生源対策として、いままでボイラーの排ガス量は新設するものについては1時間に4万ノルマル立方メートル以上、既設のものについては10万ノルマル立方メートル以上の施設を対象としていましたが、昨年12月からは1時間に1万ノルマル立方メートル以上等と規制対象施設が拡大されるとともに規制基準が強化され、52年12月1日までに基準に沿うよう規制を進めることになりました。

この対象となる事業所は、富士市では14工場、34施設ですが、更に第3次規制では当然これに中小工場も加えられ、規制対象施設の拡大と排出基準の改訂強化により、排煙脱硝



【当面はガス燃料等への燃料転換指導を……】

の総量規制に向けて

は74鉢、7,778.9トン(年間)で、残り26鉢の2,807トン(年間)が移動発生源による汚染負荷量となっており、このうち二酸化窒素濃度についてみると市内9測点で年平均値が0.024 PPM(49年、50年)で最も高い今泉小学校では0.033 PPMと大巾に環境基準を上まわっています。このように数字から見てもわかるとおり、富士地区においては、固定発生源からの窒素酸化物の排出量が圧倒的に多く、これが当然問題になってくるわけです。

将来の環境濃度は 9.8 P P Bに

去る49年に濃度の模擬実験を行った結果と実測値とを照合し、環境濃度の将来を予測すると富士地域の環境濃度は9.8 P P B以下とすることによって環境基準を達成することができ、したがって、この目標値9.8 P

P Bを満足させるためには現在の窒素酸化物の総排出量を平均で60~70

実測値と計算値 (NO₂ P P b)

番号	地点名	実測値	計 算 値			
			固定煙源	移動線煙源	移動面煙源	合計
1	富士保健所	30	9	7	9	25
2	吉原第3中学校	27	9	4	10	23
3	勤労青少年会館	19	8	4	4	16
4	元吉原中学校	23	11	7	7	25
5	富士中学校	25	8	7	6	21
6	鷹岡公民館	23	7	5	4	16
7	大淵中学校	15	5	1	8	14
8	今泉小学校	28	9	3	12	24
9	伝法公民館	26	9	9	3	21
10	富士宮市役所	25	4	5	9	18
11	上野支所	12	3	0	4	7
12	富士川町第1中学校	24	6	9	9	24
13	蒲原町役場	32	5	8	11	24
14	由比町役場	26	3	6	9	18

規制にはなお多くの問題点

しかし、この窒素酸化物の総量を規制するまでには、なお多くの問題が横たわっており、推進に必要な次の点が指摘されます。

- 1、排煙脱硝技術の開発
- 2、良質燃料化の推進

- 3、自動車排出ガス対策の強化(乗用車・ディーゼル車・トラック)
- 4、発生機構の究明と疫学的調査の実績
- 5、1~4の対策が適応できる経済性の検討

とりあえずは発生源 監視の強化など

そこで、県下でも窒素酸化物による大気汚染の特に著しい当市では、総排出量7060.7トン(年間)の73.5鉢をしめる固定発生源をどのように規制するかが当面の課題となるわけですが、固定発生源の負荷量をこれ以上増やさないために連続測定器の設置指導による発生源監視の強化をはかるとともに脱硝装置が開発され次第、卒先して設置することを指導し、また、ガス燃料等の低窒素化燃料への転換など今後の総量規制移行に備えて積極的な指導をしていくことにしています。



■土屋医師が大臣表彰

社会福祉事業法の制定と社会福祉協議会が設立されて、ことが25周年。先月15日東京で開



かれた全国社会福祉大会で福祉事務所嘱託医の土屋重義さん(吉原3丁目)が、永

年、生活保護医療に従事し、福祉行政につくされた功績により厚生大臣から表彰されました。

市の財政を公表します



富士市公表第4号

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「富士市財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより昭和51年4月1日から昭和51年9月30日までの間における富士市の財政事情を次のように公表します。

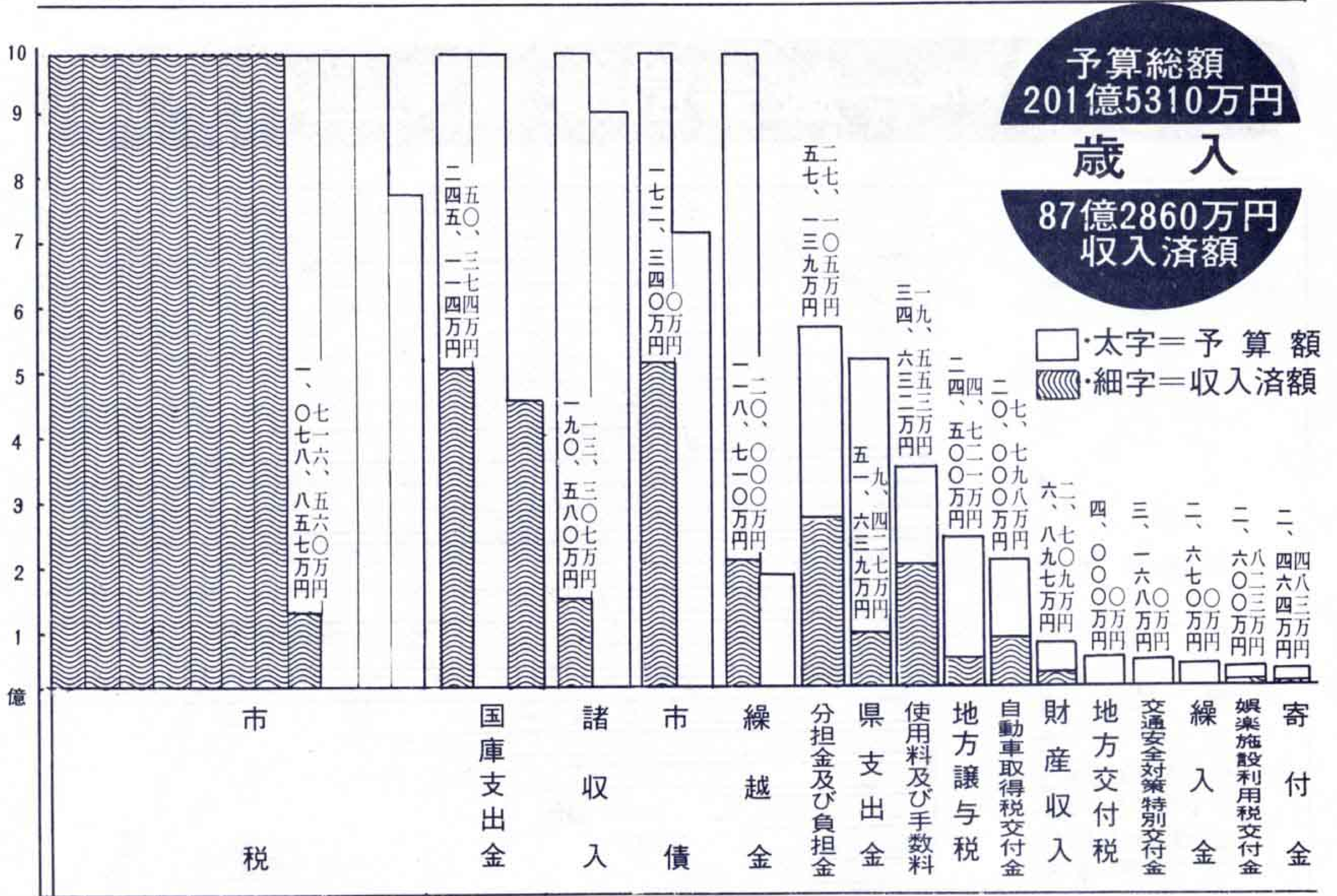
昭和51年12月1日

富士市長 渡辺彦太郎

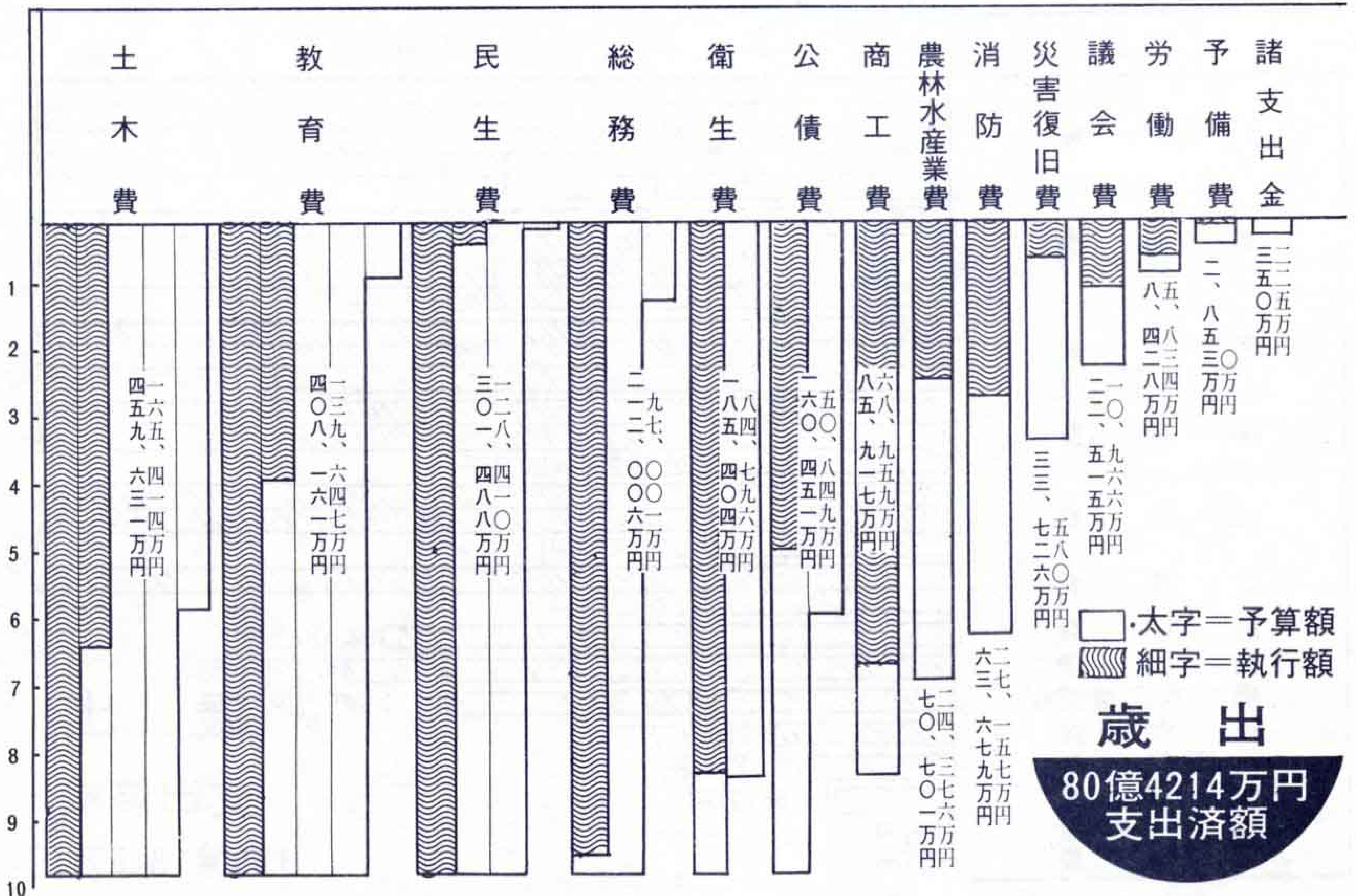
■はじめに

富士市の財政事情を市民の皆さんに理解していただくため、毎年上半期（4月から9月）、下半期（10月から3月）に分けて12月と6月に「富士市の財政」を公表することになっております。

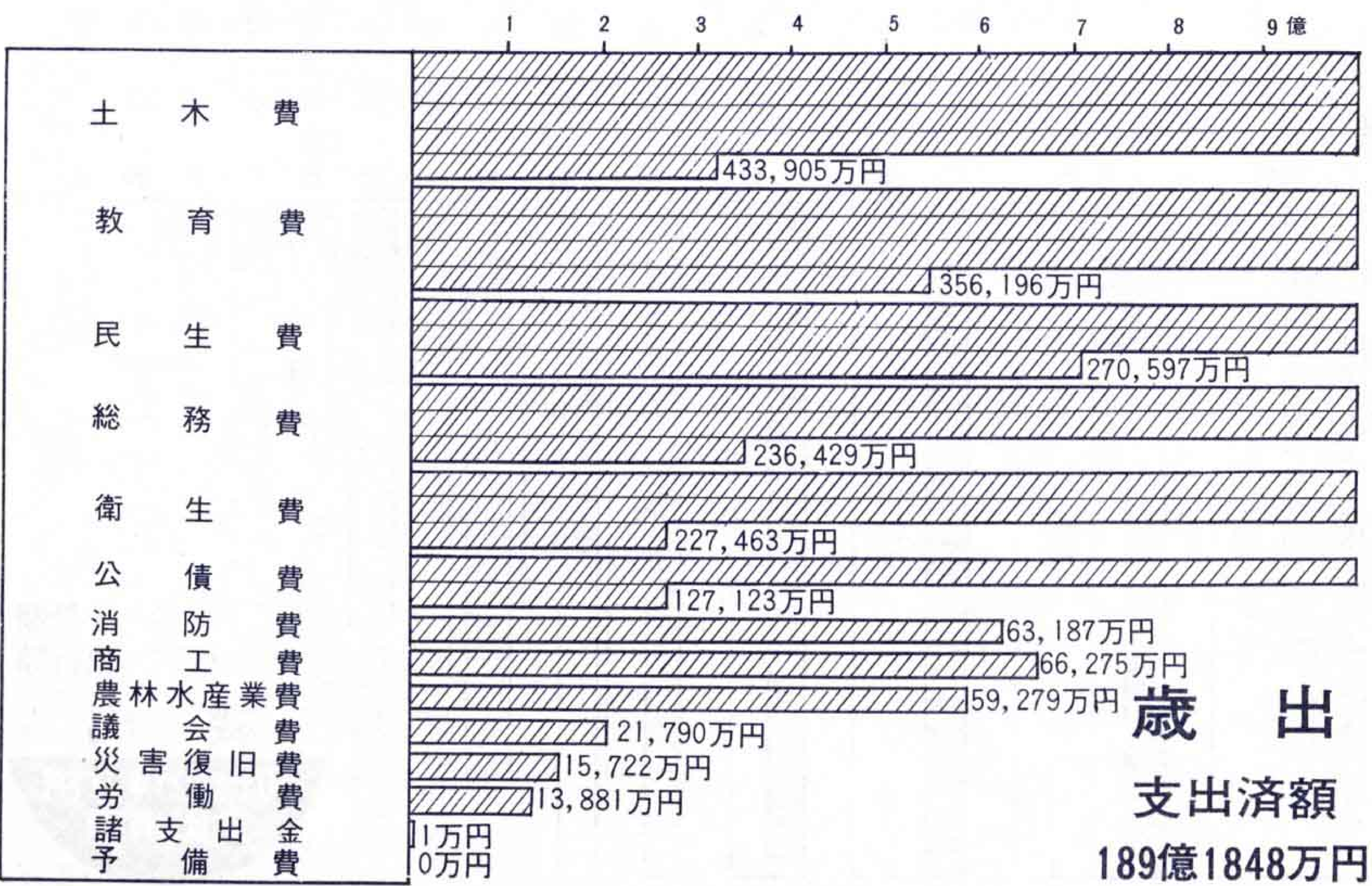
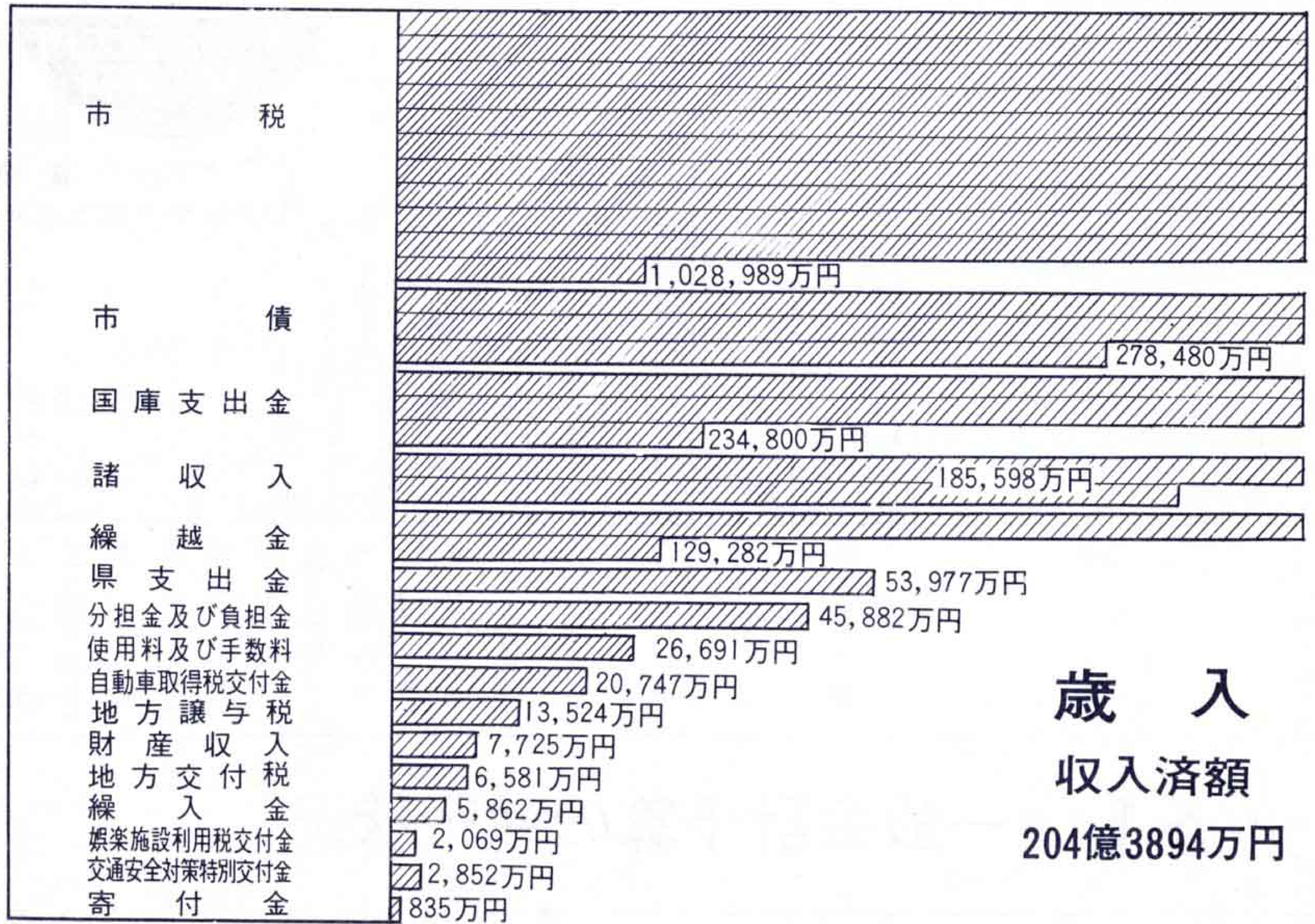
今回は、昭和51年4月1日から9月30日に至る昭和51年度の財政状況並びに昭和50年度決算見込みについて報告し、皆さんの市政に対する御理解と御協力をお願いするものであります。



昭和51年度一般会計予算の執行状況



昭和50年度一般会計決算見込の状況



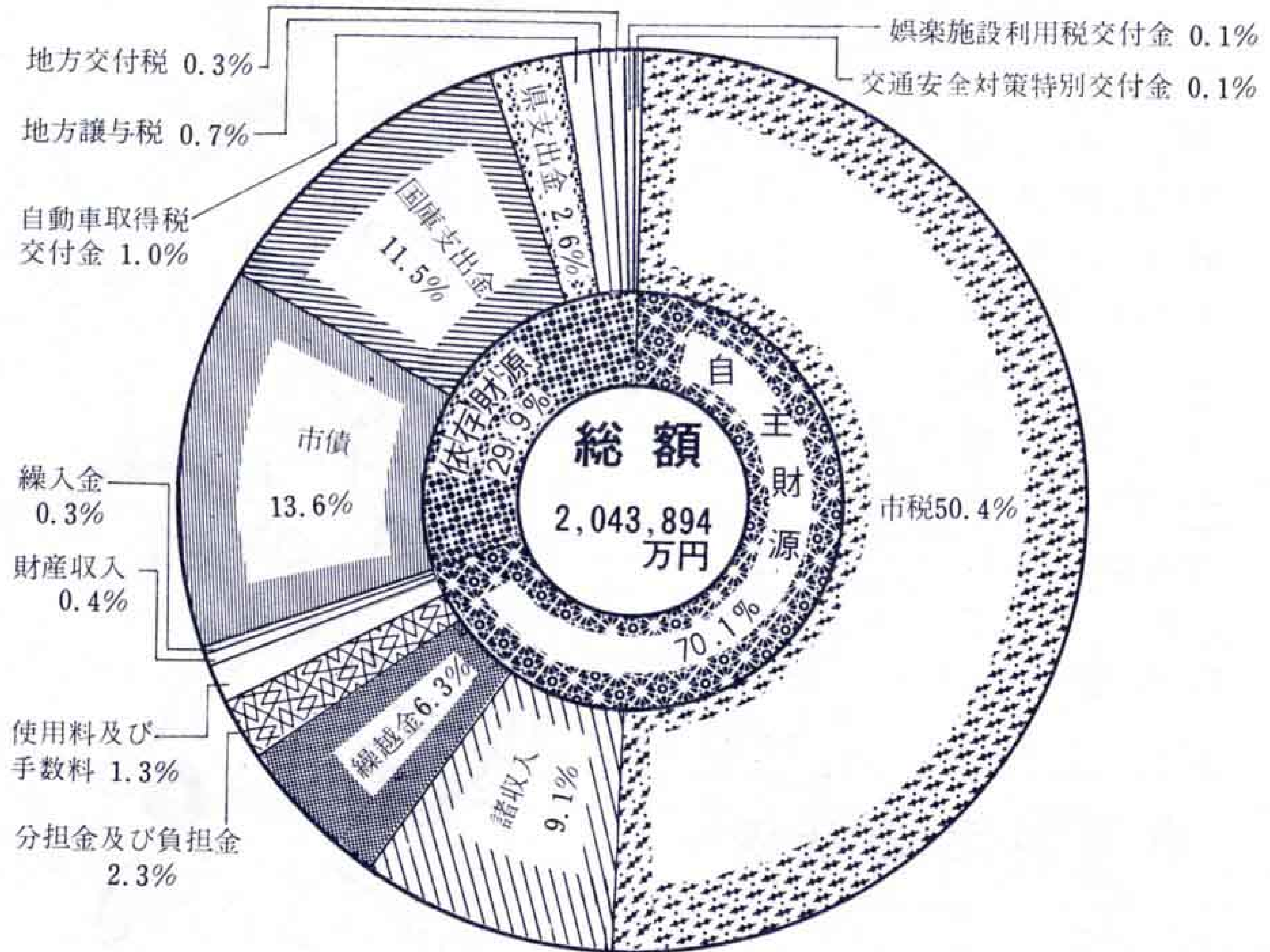
歳入

財源の内訳

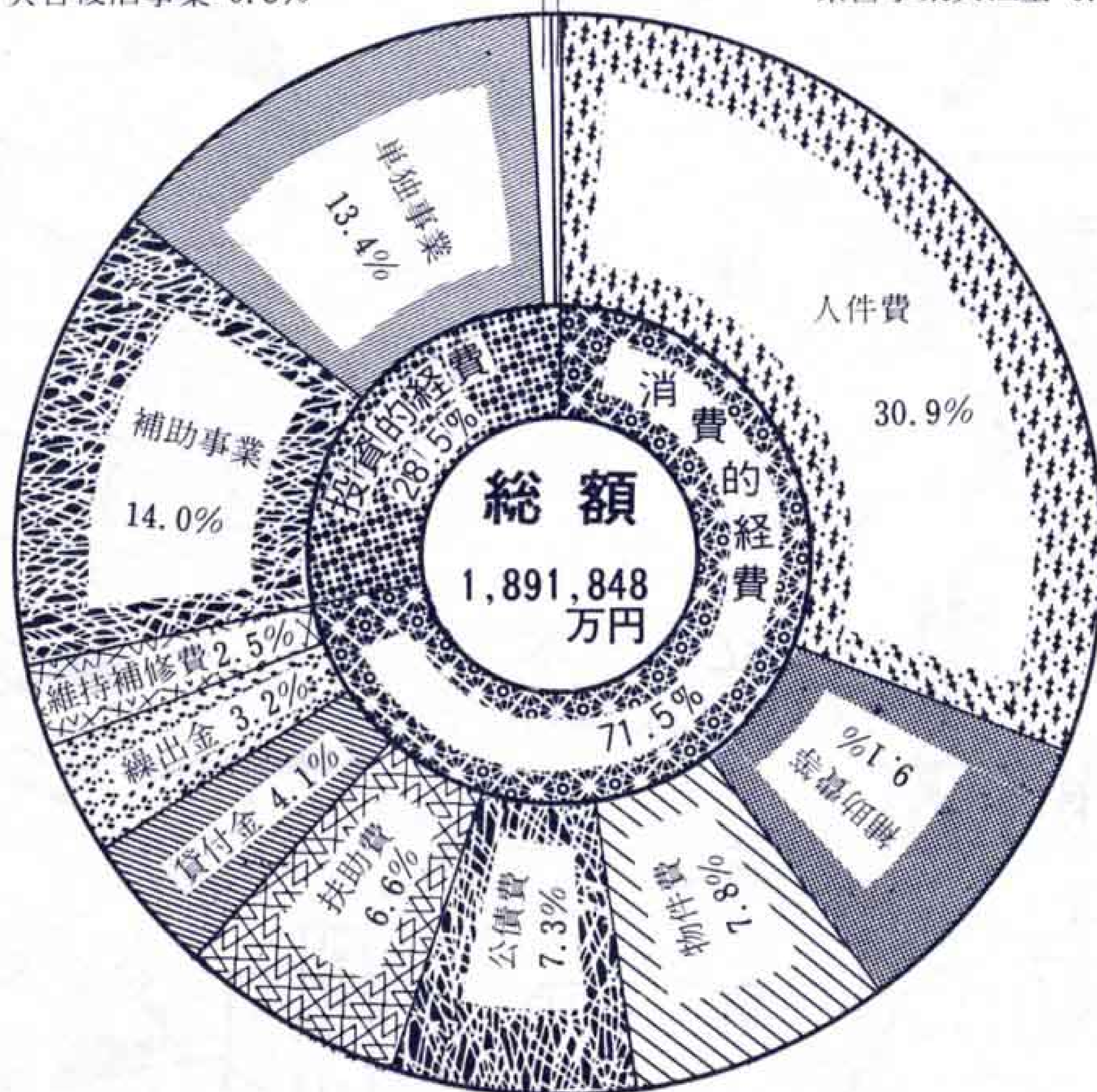
財政構造の状況

歳出

経費の内訳



災害復旧事業 0.8% 県営事業負担金 0.3%



昭和50年度市税決算見込みの状況

(単位万円)

税 目		決 算 額
普	市 民 税	415,189
	固 定 資 産 税	409,164
	軽自動車税	4,150
通	市たばこ消費税	40,244
	電 気 税	89,567
	ガ ス 税	2,064
税	木材引取税	65
	特別土地保有税	30,420
	小 計	990,863
目的税	都市計画税	38,126
合 計		1,028,989




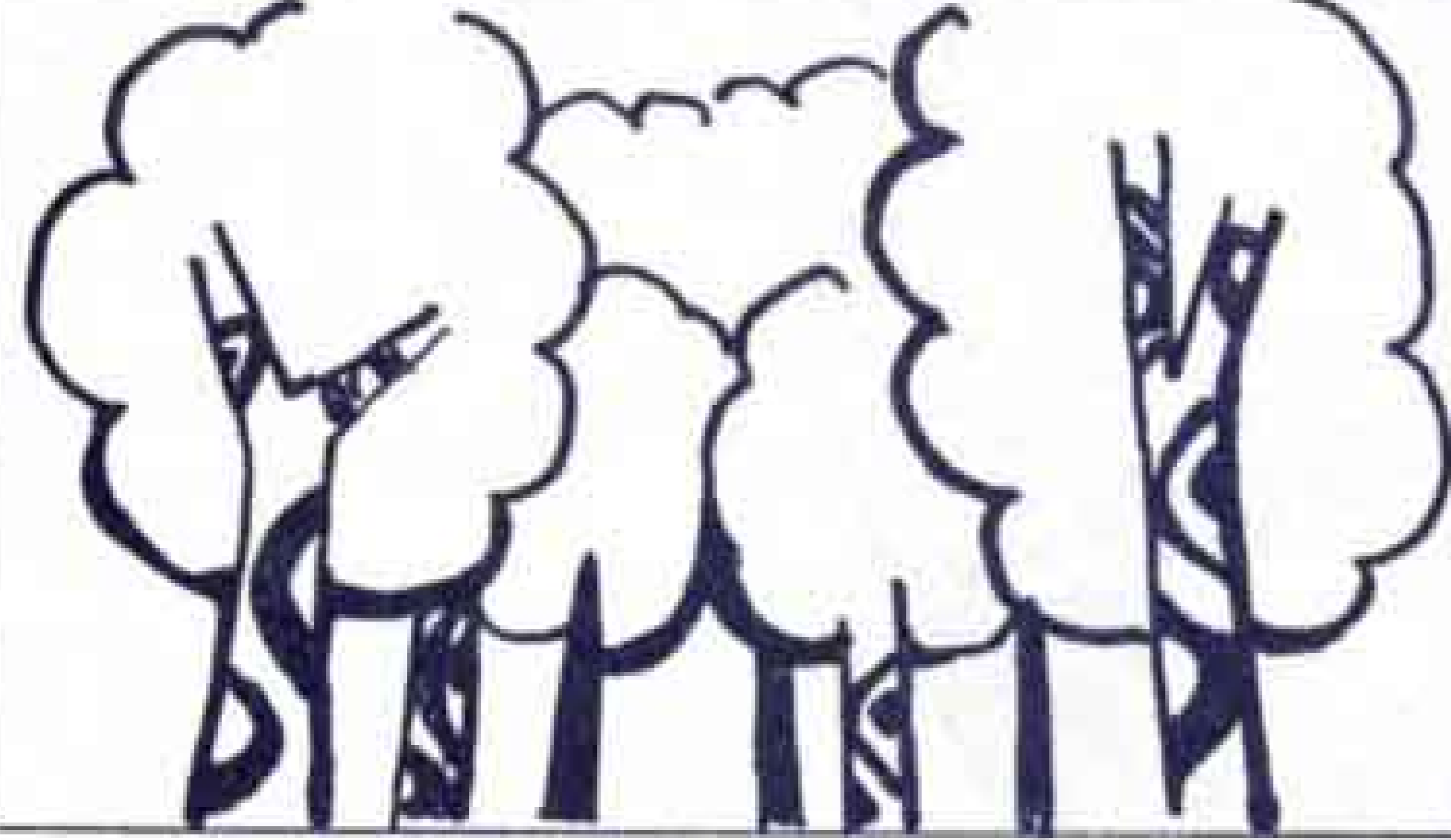

市民の市税負担状況

■世帯 56,427戸
■人口 203,197人

昭和51年9月30日現在

	<p>■市民税</p> <p>一人当り 20,433円 一世帯当り 73,580円</p>
	<p>■固定資産税</p> <p>一人当り 20,136円 一世帯当り 72,512円</p>
	<p>■軽自動車税</p> <p>一人当り 204円 一世帯当り 735円</p>
	<p>■市たばこ消費税</p> <p>一人当り 1,981円 一世帯当り 7,132円</p>
	<p>■ガス税</p> <p>一人当り 102円 一世帯当り 366円</p>
	<p>■電気税</p> <p>一人当り 4,408円 一世帯当り 15,873円</p>
	<p>■木材引取税</p> <p>一人当り 3円 一世帯当り 12円</p>
	<p>■特別土地保有税</p> <p>一人当り 1,497円 一世帯当り 5,391円</p>
	<p>■都市計画税</p> <p>一人当り 1,876円 一世帯当り 6,757円</p>

市有財産の状況

	<p>有価証券 20,071,000円</p>
	<p>土 地 6,853,685㎡</p>
	<p>建 物 392,103㎡</p>
	<p>立 木 126,239㎡</p>
	<p>車 両 184台</p>

水道事業会計50年度決算額及び51年度執行状況

■昭和50年度決算額

収益的収入
942,396,547円
収益的支出
892,379,948円
資本的収入
390,451,020円
資本的支出
523,133,654円



■昭和51年度上半期執行額

収益的収入
501,057,080円
収益的支出
394,037,629円
資本的収入
2,200,000円
資本的支出
95,231,994円



病院事業会計50年度決算額及び51年度執行状況

■昭和50年度決算額

収益的収入
1,788,552,090円
収益的支出
1,780,129,738円
資本的収入
0円
資本的支出
67,989,828円



■昭和51年度上半期執行額

収益的収入
1,057,629,887円
収益的支出
961,105,836円
資本的収入
0円
資本的支出
40,544,426円



特別会計決算見込みの状況 (単位万円)

会 計 名	歳 入 額	歳 出 額
国 保 会 計	201,179	189,328
下 水 道 会 計	70,406	64,617
青 島 ・ 津 田 会 計	2,836	2,745
依 田 原 新 田 会 計	68,942	68,828
富 士 中 部 会 計	2,253	2,235
学 校 給 食 会 計	8,271	8,157
魚 市 場 会 計	1,129	109
地 方 卸 売 市 場 会 計	153,884	153,859
駐 車 場 会 計	7,084	6,331
公 共 用 地 先 行 取 得 会 計	46,711	37,885
内 山 会 計	4,392	3,204
旧 吉 原 会 計	105	0
旧 島 田 会 計	219	0
旧 今 泉 会 計	2,877	2,003
旧今泉・一色・神戸・今宮会計	1,431	1,003
旧 元 吉 原 会 計	109	0
旧 須 津 会 計	224	52
旧 吉 永 会 計	518	271
旧 原 田 会 計	526	299
合 計	573,096	540,926

年末年始の食料品価格を協定

クリーニング店も年末サービスに協力

年末年始に少しでも安い値段でお買物を……と富士市消費者運動連絡会が提唱してはじめた年末年始の食料品価格協定は、ことしで3年目を迎え11月29日、市庁舎で渡辺市長、内田商工会議所副

会頭の立会のもとに業者代表との間で協定書の調印が行われました。今回は、特に、消費者からの要望が強かったクリーニングサービスについても同時に協定が行われました。

食料品は砂糖など8品目10銘柄

協力期間 12月1日～52年1月15日

食料品はことしが3年目の価格協定ですが、この協定に先だち、11月18日に市内で食料品を取扱っている卸問屋やスーパー、デパートなどの大型店と消費者との話し合いを行いま

した。この結果、市消費生活モニターの調査結果による10月時期の平均価格を参考にして8品目10銘柄について価格の協力を依頼し、市内の小売店253店の協力を得て調印のはこ

びとなりました。なお、この協力店では、写真のような店頭ポスターを掲げてこの運動に協力します。



◇協力品目と価格

協力商品名	銘柄	規格	協力価格(但し上限)
小麦粉	日粉ハート・日清フラワー	1等薄力粉1kg	ハート145・フラワー150
みそ	ヤマタカ	田舎特級1kg袋入	265
マーガリン	雪印	ソフト225gカートン入	160
砂糖	全銘柄	上白1kg袋入	240
しょう油	ヤマサ	2ℓビン(中身)	380
天ぷら油	味の素・豊年	1400g缶入	480
バター	雪印	225g箱入	310
チーズ	雪印	225g箱入	250

(注) ただし、砂糖については価格が異常に高騰した場合、上限価格に修正があります。



クリーニングは仕上げや料金面でのサービス協力

協力期間 12月1日～12月15日

また、クリーニングについても、9月に市消費生活モニターが行った実態調査の際、指

摘のあった仕上げや料金などのサービスについての協定に重点を置いて、県クリーニング環境衛生同業組合加盟店66店の協力で協定書の調印が行われ

ました。この協定に協力する店にはやはり写真のような店頭ポスターが表示されています。



◇協力品目と料金 (カッコ内は平常価格)

背広上下	800円以下 (1,000～1,200円)
ズボン	320円以下 (400～450円)
ワイシャツ	120円以下 (150～200円)
ワンピース	480円以下 (600～800円)
ブラウス	200円以下 (250～300円)
スカート	240円以下 (300～350円)

(注)ただしこのサービス料金は前金払いで注文した場合に限る

仕舞にうっとり

芸術の秋をいろどる第10回富士市総合文化祭が11月12日から14日まで市内5会場で開かれました。

鷹岡公民館では、最終日の14日に富士寿謡会と笠雪会のみなさんによる

邦楽と謡曲が発表され、うたいに合せた舞やさえた鼓の音が会場を魅了しました。



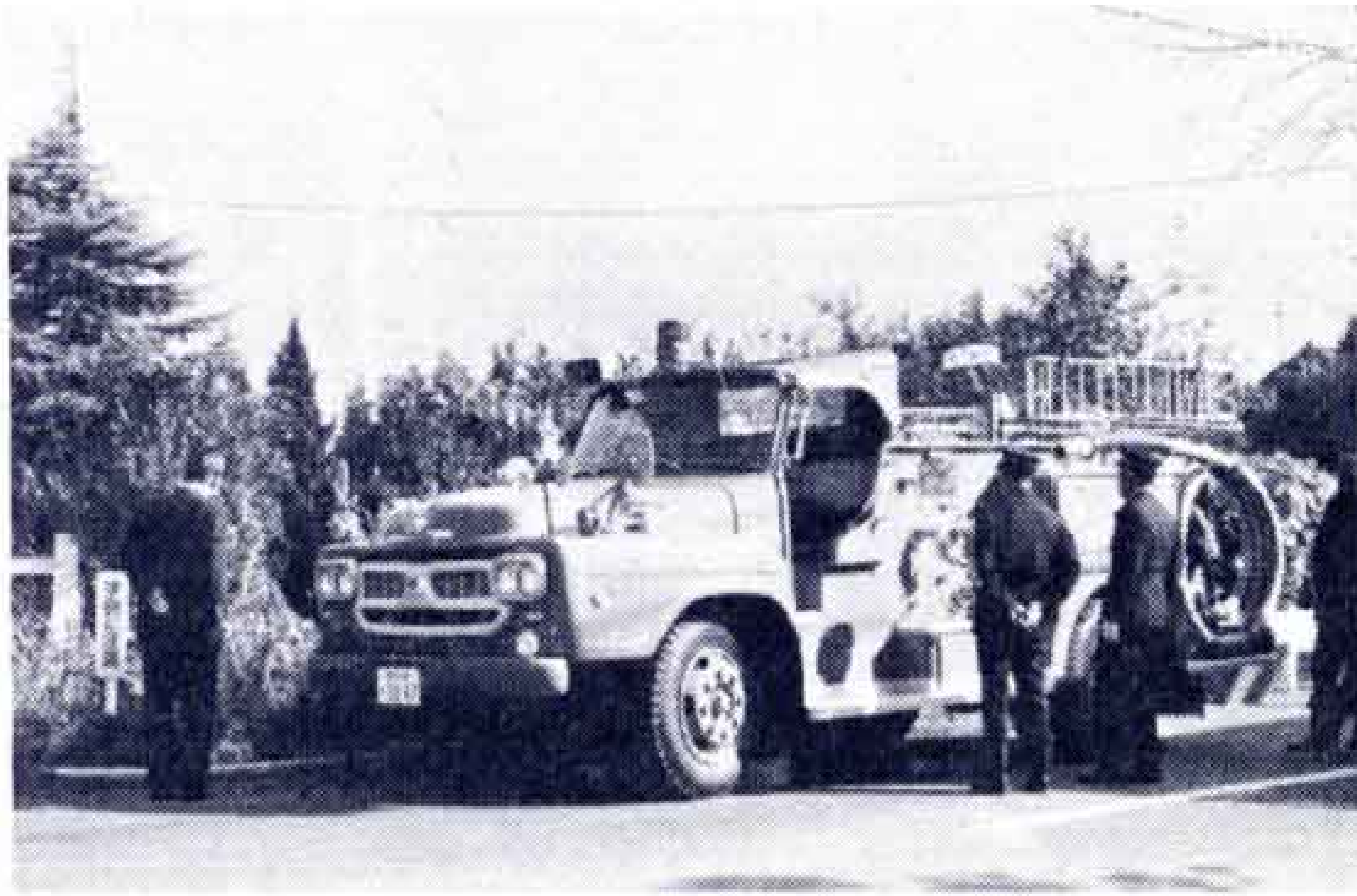
【静かな舞にうっとり】

ふじ

15分団に新鋭消防車

市内ではじめてのディーゼルエンジンを積んだ消防自動車了新らしく第15分団に配置され、11月12日、米の宮神社で入魂式が行われました。

この消防車は、ディーゼルエンジンのため水害時や山間地での火災に威力を発揮するほか、地震の際の交通混雑に備えて小型可搬式ポンプも積んでいます。



【消防車の放水テスト】

“明るい未来は母の手で”

“明るい未来は母の手で”をテーマに、第8回富士市婦人祭が11月27、28の両日、吉原市民会館で開かれました。1日目は、各部ごとの実践活動発表が熱心に行われ、2日目は各支部単位で趣向をこらし

た民踊やお勝手楽団などがぎやかに披露されて国際婦人年にひき続き、ことしからはじまった“婦人の10年”の第1年目にふさわしい大会を終りました。

【熱心に行われた実践活動発表】



くるまの健康診断

あなたの車は健康ですか？。日本自動車連盟富士支部は、交通事故防止に役立てようと市内のマイカードライバーに呼び

かけて11月13日に鷹岡車検場で、希望のあった30台のマイカーを無料点検サービスしました。



【点検は念入りに...】

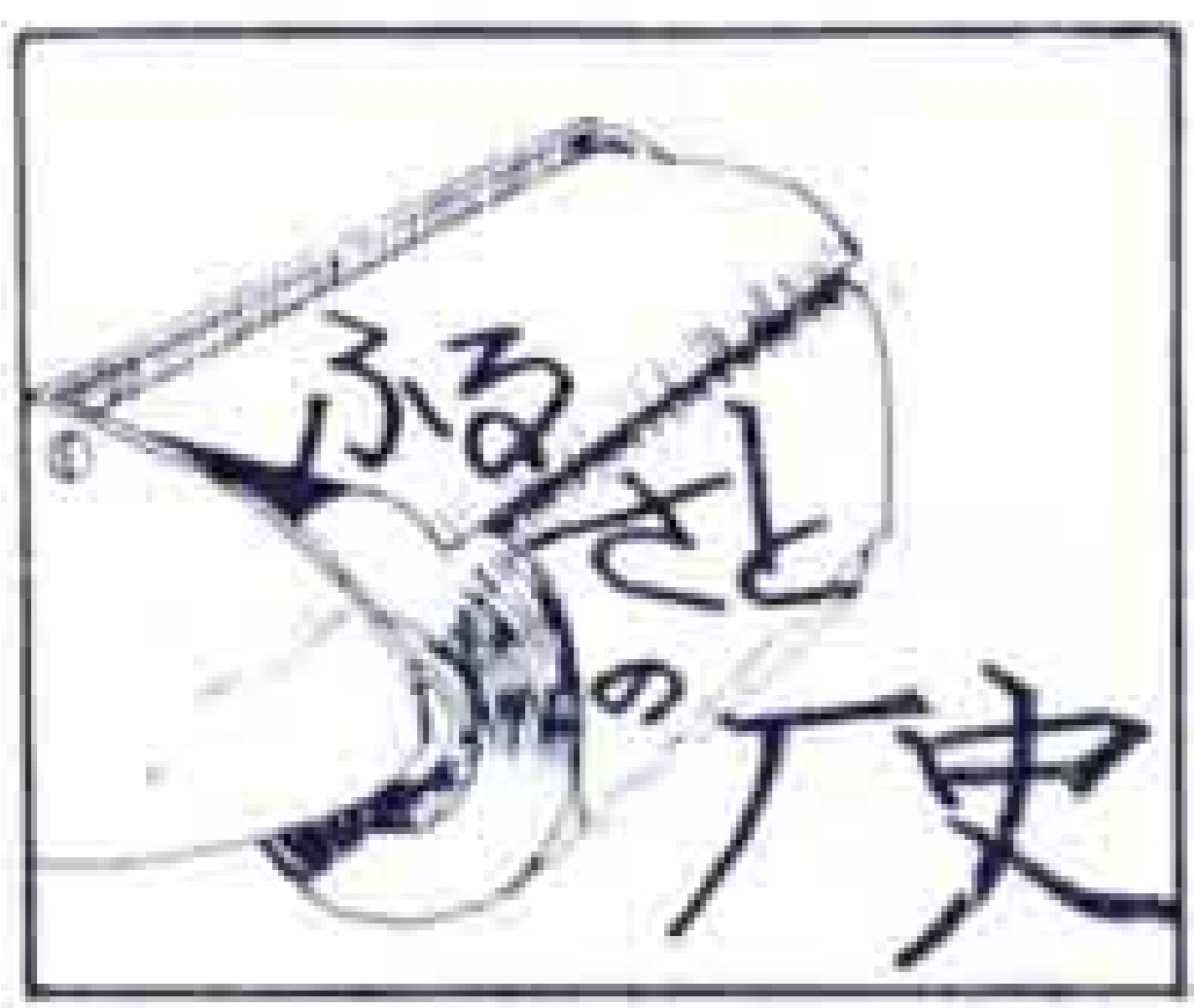
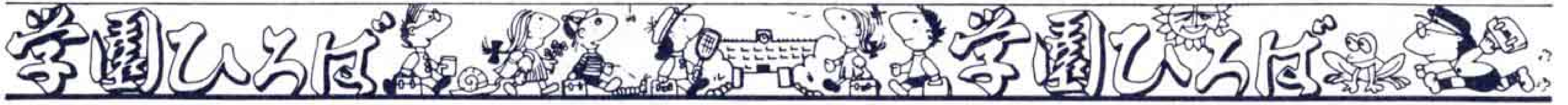
おとしよりにお寿司の慰問

おいしいお寿司をどうぞ一。富士寿司組合青年部の長島勝弘さんら16人が、11月17日にお寿司の材料をどっさり持って富士老人ホームのおとしよりを慰問しました。この

慰問は、ことしで4回目。毎年のごとで心待ちしていた47人のおとしより達は目の前にぎゅってくれるおいしい寿司をほおぼりながら舌ずつみを打っていました。



【お寿司のサービス】



ふじ市の製紙

④

不景気の風にゆれる製紙工場

大正時代になると、手すきの和紙工場がだんだんなくなって、かわりに機械すきの和紙工場がふえていきました。

大正3年、第1次世界大戦が始まると、戦争のため洋紙やパルプの輸入ができなくなってしまいました。紙の量は少ないのに、紙を買いたい人は多ぜいですから、ねだんは天井しらずに上がり続けました。

こうなると、紙はどんどん売れて製紙工場は景気がよくなります。どこの工場も、夜おそくまで仕事をしたり、新しい機械にかえたりして、紙をたくさん作ることに一生懸命でした。

新しい工場もあちこちにできまし

た。大正4年から9年までの6年間に泉町や原田、宇東川を中心に市内に16社も生まれました。

ところが戦争がおわると、急に不景気になりました。えんとつの煙も一つずつ消えて、仕事を休んだり、つぶれてしまう工場がめだつようになりました。

円本（えんぽん）が発行されたのは、このころです。円本というのは一冊一円で買った本のことです。

円本の発行で、紙の使用量も少しふえました。製紙工場は、やっとひと息つくことができましたが、あいかわらず苦しいままで、昭和へと移っていったのです。

「汗は守りにも使いたい」が
東海郵政局長賞
簡易保険作文コンクールで、吉原第一中学校二年生、木村早登美さんの作品が、東海郵政局長賞に選ばれました。
ふとしたことから簡易保険を知り、興味をいだいていたことを「汗は守りにも使いたい」という題で書いた作品です。



吉原第一中学校 二年 木村早登美

小中学校統計図表展

小中学校の統計図表展を、11月20日と21日、吉原市民会館で開きました。小学校から134点、中学校から82点の応募がありましたが、この中から35点を選んで展示しました。

入賞した作品は、どれも実際に自分が見たり、聞いたり、調べたりしてあって、グラフも、だれにもよく

わかる表わし方をしております。

■小学校の部

- ・市長賞 中山雄二（吉原小3年）
本町通り南側通った人しらべ

■中学校の部

- ・市長賞 植田久美子 秋山美広
（鷹岡中1年）
富士根駅の乗降客数



かりがね祭り

岩松小学校は、かりがね堤のすぐ近く。古郡孫太夫から子供の重政へそして、そのまた子供の重年のときやっと完成したかりがね堤。300年以上たった今でも、びくともせず、まちを水害から守ってくれます。

全校生徒で祝うかりがね祭りも、今年で3回目。祭りのたびにぼく達は、かりがね堤について勉強します

